

粹

ス イ

10画
シ 半 粹 粹 粹

なりたち 旧字体は粹。仕事をし終える意味の卒と、米との会意形声字。よくついて完全に精白した米という意味の字。広く物事の立派な状態を表す。純粋。わが国では「物分かりが良い」の意味にも用いる。「粹(シ)」というのは、「風流」の意味。



いみじゆく

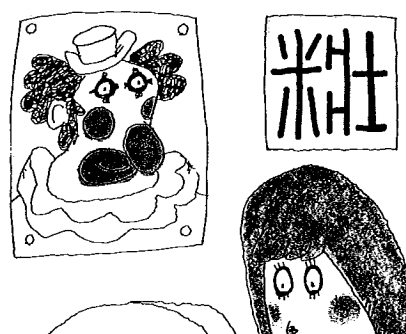
▼まじり気が無い。
 純粋：①他の要素が全く混じっていないこと。用例純粋の水。②邪念や打算が全く無いこと。
 生つ粹：混じり気が全く無いこと。用例生つ粹の江戸つ子。精粹：混じり気が無い、一番良い所。えり抜きの所。
 ▼一番良い所。
 抜粹：①一番良い所を抜き出すこと。また、その抜き出したもの。②必要な部分を抜き出すこと。また、抜き出したもの。抜き書き。
 ▼いき。風流を好む。
 粹人：①風流を好む人。②世間や人情に通じ、さばけた人。通人。
 粹狂：風変わりなことを好むこと。物好き。「酔狂」とも書く。

粧

シ ヨウ

12画
シ 半 粧 粧 粧 粧

なりたち 莊(盛んに飾る意味)の俗字の庄(礼)と、粉の意味の米との会意形声字。白粉(粧)で顔を美しく飾るといいう意味の字。お化粧する・よそおうこと。



いみじゆく

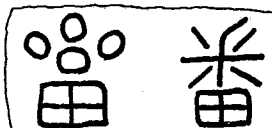
▼よそおう。
 化粧：①おしろいや紅で顔を美しく飾ること。例薄化粧。②汚れを落とし綺麗にすること。用例建物の化粧直し。③外観を美しく飾ること。例化粧箱(贈り物などを入れる、美しい箱。)

番

おん

12画
一 一 一 一 一 一 番

なりたち 獣の足跡の形をかたどった米と田との会意形声字。獣の足跡のように規則正しく田に種を播(ま)くことを表した字で「播」の本字。順番に規則正しく播くので「順番」の意味に用いられ、別に「播」が作られた。



いみじゆく

▼順番。
 順番：順序を決めて、交替して行うこと。
 当番：順番にする仕事で、番に当たること。また、その人。例掃除当番
 週番：一週間ごとに交替する当番。また、その週の当番。
 輪番：幾人もの人が順番で一つの事をする事。
 ▼見張り当番の人。
 門番：門のそばで人の出入りなどを当番で見張る人。
 番兵：見張り当番の兵士。
 ▼順序や等級などを表す言葉。番号：整理のために、順番に付ける数字の符号。
 番組：試合・放送・演劇などの組み合わせ。プログラム。
 ▼つがい。組になる。
 よみかた 番外・番狂わせ・番犬・交番・茶番

藩

おん

18画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 藩

なりたち 水が渦を巻いて流れる意味の藩(邊)と、一(くさかんむり)との会意形声字。家の周囲に植えた垣根の草木を表した字。藩(まが)は天子の藩屏(邊)垣根。守りとなるもの。であると言われたことから、「諸侯の国」の意味となる。



いみじゆく

▼藩(まが)。垣根。
 ▼諸侯の国。特に江戸時代の大名が所有していた領地や領民などの総称。
 藩主：藩の領主。藩侯。
 藩士：藩に仕える武士。藩臣。
 大藩：領地が大きい藩。
 雄藩：大きな領地を持つ、勢力のある藩。大藩。
 藩邸：江戸に置かれた藩主の屋敷。
 藩校：藩の学校。藩学。
 廃藩置県：明治四年、藩を廃止し県を置いた、明治政府による改革。
 よみかた 脱藩・列藩

番藩